

9月25日：投資家の慎重姿勢が高まり、ベトナム株は下落

水曜日のベトナム株は第三四半期決算を前に投資家が慎重になったため、わずかに下落して取引を終えた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.08%下落し987.0ポイントで取引を終えた。

火曜日にVN指数は0.24%上昇していた。

出来高は1億7150万株で売買代金は3.63兆ドンであった。

出来高は増加したが、売買代金は減少した。

投資家は第三四半期決算を前に取引に参加することに消極的になっているようだと言った。Thanh Cong証券は語った。

第三四半期の決算発表が終わるまでは、この警戒感は続く可能性があると同社は語る。

時価総額で分類される3つの指数は0.13-0.42ほど上昇した。

VN30指数は0.18%上昇した。モバイルワールドインベストメント(MWG)、FPT(FPT)、ベトナム投資開発銀行(BID)、コテコンズ建設(CTD)などが相場を牽引した。

FPT、MWG、CTDの株価の上昇は同セクターも押し上げることになり、それらのセクター指数も1.2-2.6%上昇した。

これらの企業は第三四半期に好決算を発表するのではないかと期待が高まっている。

BIDの株価は1.1%上昇した。同銀行会長のPhan Duc Tu氏が10月にKEBハナ銀行より増資の資金を受け取れるだろうという発言を受けてのことだった。

7月に同銀行はKEBハナ銀行へ新株を6億330万株発行することが取締役会の承認を通過していた。

この取引終了後には、BIDは定款資本が現在の34.2兆ドンから40.2兆ドンへと増加し、政府の保有比率は14.2%下落し80.8%になると予想される。

その他相場の重荷になったセクターは保険、農業、水産加工、不動産などであった。

投資家は消極的で相場をほとんど支えようとしなかったとサイゴンハノイ証券は述べた。

大きなニュースが無ければ、983–990 ポイントのレンジで推移するだろうと同社は予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.19% 下落し、103.81 ポイントで取引を終えた、

同指数は火曜日にも 0.36% ほど下落してた。

出来高は 3300 万株で、代金にして 3966 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。